

令和元年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 南幌町商工会 経営発達支援委員会
2. 開催日時 令和2年3月18日(木) 13時53分
3. 開催場所 南幌町商工会館 2階 研修室A
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 南幌町産業振興課 商工観光グループ 課長 黒島滋規
北海道商工会連合会 組織経営支援部
広域支援課 主幹 大越千尋
オブザーバー 北海道商工会連合会 組織経営支援部
組織支援課 主査 新谷大介
 - (2) 商工会 会 長 松田保則
副 会 長 和田 修 吉田義哉
部 会 長 境 憲明(工業) 細川義雅(サービス業)
事務局長 柿崎 納
経営指導員 長谷川次人

5. 内容

参加者が揃ったので予定時間より早く事務局が開会を宣し、松田商工会長が開会挨拶を行った後、事務局より支援委員を紹介し、議事に入る。

1. 経営発達支援計画及び令和元年度伴走型小規模事業者支援推進事業について

(1) 経営発達支援計画(概要)について

事務局は、別紙資料に基づいて説明した。

(2) 令和元年度伴走型小規模事業者支援推進事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。

令和元年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業を別添資料に基づき説明した。

◆令和元年度伴走型小規模事業者支援推進事業実績報告書

I 事業計画策定支援

具体的事業内容

①販路開拓支援セミナー・個別相談会(9/19)

専門家によるセミナーと個別相談会を開催した。

受講者 セミナー8名 個別相談会1名

成果等 ・消費税転嫁の必要性を理解した。

・新規客開拓の取組み手法を習得した。

・メニュー表の作り方の指導を受けた。

②創業セミナー・個別相談会（10/16）

専門家によるセミナーと個別相談会を開催した。

受講者 セミナー4名 個別相談会 1名

成果等 ・創業動機の明確化を理解することができた。

・創業計画書作成指導を受けた。

③事業承継セミナー・個別相談会（11/27）

専門家によるセミナーと個別相談会を開催した。

受講者 セミナー9名 個別相談会 4名

成果等 ・事業承継の取組み方などを習得した。

・個別相談会にて悩みや課題を聴き取りアドバイスを受けた。

Ⅱ 新たな需要の開拓に寄与する事業

具体的事業内容

①なまらいっしょ北海道フェア 2019 出展（12/14・15）

主催者 北海道商工会連合会

場 所 東京都三軒茶屋ふれあい広場

来場者 22,000人（10,000/12,000）

出展者 4社（ことぶきや、㈱北洋食産、㈱城地農産、㈱スリービー）

支援者 職員4名

成果等 ・4社合計売上金額 577,910円

・フェア参加店と商談し、今後の取引等の話ができる。

・中国への輸出コンサル関係者と商談した。

・首都圏のニーズやマーケット事業を知ることができた。

②共同チラシ作成・新聞折込み

飲食店等サービス業部会加盟店の共同チラシを作成し、新聞折込みした。

折込日 11月20日（水）

事業期間 11月20日（水）～12月14日（土）

掲載企業 24社

折込先 江別市内道新4か所、南幌町内道新・読売

部 数 19,590部

成 果 新規客が増え、売上増加につながった。

事業期間の客数 3,295人

事業期間の売上 8,222,570円

クーポン利用数 320枚

抽選応募件数 160枚（町外68枚、町内92枚）

町外来客数 185人

Ⅲ 支援ノウハウ等の情報交換

具体的事業内容

①伴走型支援の円滑な実施に向けたノウハウ向上の取組み（7/30）
内容～伴走型小規模事業者支援推進事業に係る経理、事務処理と効果的な支援事例についての研修

参加～職員 1 名

成果～伴走型小規模事業者支援推進事業の円滑な実施のため、全国の効果的な支援事例の習得や事務処理、経理処理手続き等研修した。

(2) 令和元年度経営発達支援事業報告について

事務局より、別紙資料に基づき説明した。

(3) 令和 2 年度事業計画及び予算について

事務局は別紙資料に基づき、伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して令和 2 年度の事業の実施を計画している旨の説明を行った。

(4) 事業の評価・見直し結果の内容について

各委員からの意見等は下記のとおりです。

細川委員～6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関するのですが、なまらいいっしょ北海道フェア 4 社出展しているが出展希望は何社あったのか。

事務局 ～AUS グループ含めて 5 社あったが、当初 11 月予定が 12 月に変更となったため辞退した。

細川委員～Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取組の、地域ブランド確立のための取組みですが、実績値がゼロになっている。若手グループ農猿が米粉ドーナツを開発し頑張っている。

町・農協・観光協会などの関係機関で話し合いをするといい意見がでると思う。

事務局 ～観光協会で優良特産品推奨を行っている。吉田副会長が審査委員長、細川理事が審査委員なので、側面から支援している。

境委員 ～地域ブランドは何を想定しているのか。

事務局 ～食に関することを想定している。

境委員 ～食べ物でない地域ブランドを確立して PR してはどうか。キャンプが流行っている。三重湖周辺のキャンプ場を PR してはどうか。

黒島委員～役場で 4 月から観光ルートの HP を立ち上げ、キャンプ場も入れます。

細川委員～商工会の HP 閲覧はどの程度あるのか。

事務局 ～閲覧数を確認していません。

役場の HP にリンクできるようにしたい。

和田委員～SNS での発信が大事だ。

境委員 ～令和 2 年度の伴走型補助金でなまらいいっしょ北海道フェアの

出展者はどのような業種か。工業系はどうか。

事務局 ～食品関係の出展がほとんどです。

境委員 ～南幌町に来てもらえるような出展はどうか。

大越委員～移住促進協議会が出展しているので、ここで南幌町の PR は可能と思われる。

事務局 ～役場まちづくり課で移住推進の取組みを積極的にしています。

境委員 ～移住までいかなくても、ちょっと南幌を拠点に観光できるような情報を発信できないかと思っています。

あと、飲食サービス業関係の HP 作成は賛成です。HP の閲覧が多くなるよう発信の仕方を工夫しよう。SNS を活用してどんどん発信しよう。

その他、会長は意見等を求めたが特に発言はなく、支援委員会を閉会した。

時に 15 時 12 分